

2019. 8. 18

畑 啓之

印南郡誌（大正5年）に過去の戦争における戦病死者の情報が記されている

西南戦争 (Wikipedia)

1877年（明治10年）に現在の熊本県・宮崎県・大分県・鹿児島県において西郷隆盛を盟主にして起こった士族による武力反乱である。

戦死者 明治政府軍 6400人、旧薩摩藩士族 6800人

日清戦争 (Wikipedia)

1894年（明治27年）7月25日から1895年（明治28年）4月17日にかけて日本と清国の間で行われた戦争である。

戦病死者 大日本帝国 戦死 1132、戦傷死 285、病死 11894、戦傷病 3758
清国 約 3500

日露戦争 (Wikipedia)

1904年（明治37年）2月8日から1905年（明治38年）9月5日にかけて大日本帝国とロシア帝国との間で行われた戦争である。

戦病死 大日本帝国 戦没 8万 8429人、うち戦死戦傷死は 5万 5655人
ロシア帝国 戦死戦傷死は 3万 4000 - 5万 2623人

日独戦争 (Wikipedia)

第一次世界大戦に於ける大日本帝国とドイツ帝国の戦争を指す。

戦病死者 記載なし

戦病死者

	全国	印南郡	上荘村
西南戦争	13200人	1人	0人
日清戦争	17069人	21人	1人
日露戦争	8万 8429人	135人	3人
日独戦争	?	1人	0人

て學校役場郵便局等公職者の貯金を獎勵し同三十四年五厘講を組織し村民一般の貯金を獎勵して村稅滯納の弊を除き更に三十六年大塩勤儉貯蓄會を組織して一口毎日貳錢宛五百五十口の共同貯金を行へり。

明治三十七年日露戰役に際し氏は又尙武會を指導し、軍人家族救護事業として兒童救護預所憐寸箱張獎勵職業紹介軍人家族學童學用品給與軍人家族慰安會出征軍人慰問戰病死者葬儀追悼に日夜奔走し其成績他に其比を見ず。

右の治蹟により明治三十九年三月同村農會は大日本農會より、同三十九年同村尙武會は大日本賞勳局より、同四十年同村就學獎勵會は本縣知事より表彰せられ、明治三十八年五月芳川内相巡視の際縣知事より氏の功績を表彰さる、更に同三十九年日露戰役の功により勳七等青色桐葉章並に金五拾圓を下賜せらる。

明治四十年七月九日病のために享年三十四を以て歿す。

○賞狀

大塩村長 千葉保胤

資性精敏多年村務に軌掌し専ら自治の發達を圖り力を勤儉貯蓄の獎勵に竭し時局に當りて篤く意を軍人家族の救護に用ひ教育勸業の庶政亦克く整理し其成績顯著なるを認む。

明治三十八年五月十日

兵庫縣知事從三位勳一等 服部 一三

○碑文

君名保胤千葉氏明治七年四月生大塩村初學於姫路中學後遊東都三十年爲大塩村助役尋而爲村長四十年七月九日病歿享年三十四君資性精敏軌掌村務勵精圖治十年如一日會有芳川内相巡視之事徵縣下町村吏而克整理其事務成績顯著者三人干縣廳表彰其功績君即其一也呼稱摸範村長也三十九年四月依日露事件之功叙勳七等青色桐葉章銘曰

勤勉守職 天不假年 跡微績巨 合不朽傳

明治四十年一年七月

從六位勳六等 八木虔介撰並書

○八木郁二

八木郁二は帆仙と號す、揖保郡餘部村の人、天保十三年を以て生る、父又左衛門の二男也、世々農を業とす、幼より好學の志厚く林田藩の碩學詩聖河野鐵兜の門に入り多年苦學業大に進む、偶大塩村の有志郷學を興さんとし鐵兜に請うて氏を聘す、時に元治元年也、其講學所を稽古所と稱せり、後明治元年九龜講學所副助教に聘せられ明治四年致仕して再び大塩村の郷學育英の事に従ふ、氏別に大に見る所あり、泰西の學を修めんとし東都に遊びしが偶先輩に勸められて職を飾磨縣神奈川縣及び千葉縣に奉ずること六星霜にして疾に罹り職を辭し明治十一年三度大塩村に歸り思齊塾を起し郷黨子弟を教育し日夜熱心に文辭を教へ孔孟の道を説く當時我國教育の施設

戰病死者

○西南戰役戰病死者

西志方村

戰病死年月日 戰病死の場所 戰病死の別 官等 級 死亡者氏名

未だ完全ならざりしかば本村及び隣里の子弟争うて氏の門に入る、氏資性温雅人と争はず、貧窮に處して亂れず、名利に走らず、自ら守る所甚だ確し、明治四十五年一月三十一日疾を以て逝く、享年七十一氏が大塩村に移住せしより三十餘年、此間一日の如く専ら意を子弟の教育に用ひ門弟無慮數百人に及び、氏が國家風教の爲に盡されし功績や偉大なりと謂ふべし、氏に六男一女あり、三男三郎は明治二十七八年戰役に忠死を遂げ四男四郎は中學校の教諭に六男六郎は醫學士となり、其他は實業に従事せり、今や門弟相謀り氏の記念文庫を設立し一般人士の縦覽に供して以て講學の偉績をして永く後世に傳へしめんと計畫ありと云ふ。

明治一〇年三月十五日 九州田原坂 戰死 兵卒 長谷川 卯之吉

○日清戰役戰病死者

伊保村

戰病死年月日 戰病死の場所 戰病死の別 官等 級 死亡者氏名

明治三二年二月一〇日 臺灣臺中衛戍病院 病死 步兵二等卒 川井重之助

米田村

明治二八、七、二八 臺灣野戰病院 病死 步兵一等卒 大西由三郎

同 八、二 廣島豫備病院 同 同 磯野小太郎

平莊村

明治二八、八、二九 營口兵站病院 病死 步兵一等卒 高橋藤太郎

同 九、二九 柳樹屯兵站病院 同 同 山田菊松

同 三一、五、一八 臺灣苗栗分病院 同 同 高橋源吉

不詳 同 同 高倉定市

上莊村

明治二八、一〇、五 臺灣新竹兵站病院 病死 步兵一等卒 藤井伊太郎

志方村

明治二八、九、一四 臺灣新竹兵站病院 病死 步兵一等卒 川西捨松

西神吉村

明治三一、一一、一九 清國 病死 步兵二等卒 富田佐太郎

阿彌陀村

明治二八、五、一 清國盛京省唐家房 病死 步兵一等卒 中谷與三松

同 三四、三、一 臺中衛戍病院 同 同 古門虎吉

別所村

明治二八、八、三一 南鮮病院 病死 步兵一等卒 高谷豐吉

同 九、二五 清國新竹兵站病院 同 同 別所岩太郎

的形村

明治二八、七、一五 清國柳匠屯兵站病院 病死 憲兵上等兵 山本力太郎

大鹽村

不詳 同 同 輜重輪卒 入江松之助

明治二八、六、二六 清國新築病院 病死 軍曹 谷藤榮藏

同 七、三一 海城舍營病院 同 同 赤尾松次

同 八、三〇 金州病院 病死 同 吉川十久治

同 二九、一、一八 臺灣宜蘭 戰死 步兵二等卒 八木三郎

○日露戰役戰病死者 (陸軍之部)

同 三、二 奉天附近 戰死 步兵上等兵勳八等 淺井重作
 同 三、五 奉天柳匠屯 同 步兵伍長勳七等功七級 喜多次市
 同 九、二 張相屯舍營病院 同 步兵一等卒勳八等 小屋武雄
 同 一、一二 大房身舍營病院 同 步兵二等卒 長谷川松治
 同 一、一二 大房身舍營病院 同 步兵一等卒 久保勝次郎

平 莊 村

明治三七、七、三一 橋木城 戰死 步兵一等卒勳八等功七級 石田岩吉
 同 八、二九 クウヂヤズイ 同 步兵一等卒勳八等 長井要會松
 同 八、三〇 遼陽附近 同 步兵一等卒勳八等功七級 太田助太郎
 同 橋木城 同 同 山田孝作
 同 遼陽 同 步兵一等卒勳八等 梶原半次郎
 同 九、三 同 同 藤原久次郎
 同 遼陽附近 同 步兵一等卒勳八等 岡本源治
 同 一一、二一 南瓦房店兵站病院 病死 輜重輸卒 西川淺太郎
 同 一二、三 三塊石山 戰死 步兵上等兵勳八等功七級 猪坂繁吉
 同 三八、三、五 奉天柳匠屯 同 步兵一等卒勳八等 大西勢市
 同 九、二三 張相屯舍營病院 病死 步兵一等卒勳八等 弓削馬之助
 同 一〇、一五 新屯舍營病院 同 砲兵伍長勳七等 大西右一郎

上 莊 村

明治三七、九、三 遼陽 戰死 步兵伍長勳七等功七級 岡田武市
 同 一〇、九 廣島豫備病院 病死 輜重輸卒 柳川市太郎
 同 三八、三、五 奉天柳匠屯 戰死 步兵上等兵勳八等功七級 岸本銀藏

東 志 方 村

明治三七、七、三一 柵木城附近 戰死 步兵伍長勳七等功七級 玉田龜次郎
 同 八、三〇 遼陽附近 同 步兵一等卒勳八等 竹内熊吉
 同 九、四 同 同 步兵一等卒勳八等功七級 藤城要藏
 同 九、二三 海城兵站病院 病死 輜重輸卒 粕谷熊太郎
 同 三八、一、二 遼陽兵站病院 同 同 藤岡辨藏
 同 三、五 奉天附近 戰死 步兵一等卒勳八等 藤原熊市
 同 同 同 同 同 藤城三藏
 同 同 同 同 同 稗田敬次郎
 同 同 同 同 同 佐藤政治
 同 七、一八 姫路豫備病院 病死 輜重輸卒 鎌田友三郎
 同 一〇、一二 沙河附近 戰死 步兵一等卒勳八等 上野敬太郎

志 方 村

明治三七、六、一五 玄海灘 戰死 輜重輸卒 早瀬梅吉

同	七、三	岫巖戰時定立病院	病死	輜重輪卒	舛賀喜惣松
同	九、三	遼陽附近	戰死	歩兵一等卒勳八等	廣瀬又次郎
同	一〇、一七	遼陽兵站病院	病死	輜重輪卒	山村清吉
同	三八、三、五	奉天柳匠屯	戰死	歩兵一等卒勳八等功七級	岡本藤太郎
同		同	同	同	松本芳松
同		同	同	歩兵一等卒勳八等	好田門次郎
同		ベラン病院	病死	同	藤井清藏

西志方村

同	明治三七、八、一八	小孤山患者集合所	病死	輜重輪卒	玉垣榮之助
同	九、二三	遼陽第三野戰病院	同	歩兵一等卒勳八等	長谷川與八郎
同	一〇、八	北部馬石堡舍營病院	病死	歩兵上等兵勳八等功七級	長谷川政吉
同	一一、一六	遼陽兵站病院	同	歩兵一等卒	長谷川定七
同	一二、四	雙臺子第一野戰病院	同	同 勳八等	長谷川榮次郎
同	三八、三、五	奉天柳匠屯	戰死	歩兵上等兵勳八等	岸本武藏
同		同	同	工兵一等卒勳八等功七級	植原福藏
同		同	同	歩兵一等卒勳八等	長谷川周吉

西神吉村

明治三七、六、一五

玄海灘

戰死

輜重輪卒

玉川惣吉

同	八、三〇	遼陽附近	同	同	駒川福松
同	九、一	同	戰死	歩兵上等兵勳八等	笠江安太郎
同	九、三	同	同	同 勳八等功七級	田中爲市
同	一〇、三	遼陽第三野戰病院	同	歩兵長勳七等功七級	高田源嶺
同	一〇、五	北部馬石堡舍營病院	同	歩兵一等卒勳八等	鷲尾勇吉
同	二、二一	奉天附近	戰死	工兵一等卒勳八等功七級	森崎龜吉
同	三、四	奉天柳匠屯	同	歩兵一等卒勳八等	田中朝次
同	三、五	同	同	同	前田晋次郎
同	三、一〇	同	同	歩兵伍長勳八等功七級	高谷政次
同		奉天附近	同	歩兵一等卒勳八等	喜多山保豊
同		奉天附近英打堡	同	同 勳八等功七級	野村政吉
同		同	同	同 勳八等	藤金梅太郎

阿彌陀村

明治三七、六、一五

玄海灘

戰死

輜重輪卒

長谷川菊次

同	八、二一	同	同	同	山本角次
同	八、三〇	同	同	同	高原源次郎
同	三八、三、五	同	同	同	宮城常太郎
同		同	同	同	元原福太郎

同	三、五	奉天柳匠屯	同	步兵少佐正七位勳五等功五級	井澤清治
同	三、六	奉天附近	同	步兵少尉正八位勳六等功五級	中村潔
同		奉天柳匠屯	同	步兵一等卒勳八等	宮下重吉
同	上		(海軍之部)		
明治三七、一二、一三		旅順沖	戰死	海軍二等水兵勳八等	深田次郎吉

○日獨戰役戰病死者

戰病死年月日	戰病死の場所	戰病死別	官等	戰病死者氏名
大正三年一月五日	軍艦丹後	戰死	海軍一等水兵勳八等	原田眞治

備考

一本篇に収録せる人物は総て故人に限れり、而して順序は年代に據れり、前郡誌に載せたるものは誤謬の點を訂正して悉く之を本篇に收めたり。一傳記は可成其の家に就きて正確なる資料を蒐集したり、然れども絶家して何等記録の徵すべきものなきもあり碑文の磨滅して讀み得ざるもありて省略を餘儀なくせるものも尠なからず。

一戰病死者は一覽表として全部を掲げたり、古今未曾有の日露戰役に於ける戰歿者中にはその武勳の後世に傳ふべきもの數多ありと雖も、こは玉碎餘韻、日露戰役忠勇列傳等の著あれば本書には其詳傳を省略することとせり。

大正五年十一月五日印刷
大正五年十一月十日發行

(非賣品)

發行所 兵庫縣印南郡役所

印刷者 黒田房次

印刷所 黒田盛文堂

兵庫縣印南郡曾根町貳千百五拾九番地

兵庫縣印南郡曾根町貳千百五拾九番地